

久里浜の学び舎



H30(2018).5.18

学校だより NO.2

横須賀市立久里浜小学校

校長 木屋哲人

大型連休が終わり、運動会練習が本格的に実施されるようになりました。先日は、3年生の『よさこいソーラン』を、外部講師として地域の方が指導してくださいました。

1年生を迎える会



5月10日(木)、1年生を迎える会が行われました。全校で歌を歌ったり、クイズに答えたり、そして最後は、貨物列車(ジャンケンをして負けた人が勝った人の後ろにつく)をしました。700人もの子どもたちが体育館で貨物列車をするのは、とても壮観でした。

迎える会を企画した集会委員の皆さん、お疲れさまでした。

団体女子が頑張りました(児童相撲大会)

5月12日(土)、南体育館で、教育委員会主催の「第43回 児童相撲大会」が開催され、本校5年生、6年生から7人の児童が、それぞれの階級の個人戦に、また、男女の団体戦に出場しました。

個々の結果の詳細については、後日の朝会で報告いたしますが、団体戦女子では3位入賞を果たしました。女子の入賞は、平成16年度以来の記録です。

結果はともあれ、本校児童は、途中で諦めたり、気を抜いたりすることなく、最後まで競技していたことを報告いたします。中には、対戦

相手との力が拮抗し、3回も休憩(大相撲のいわゆる「水入り」)になる試合もありました。

負けた悔しさもあったと思いますが、粘り強く取組んだ経験を、学校生活に活かしてほしいと思います。

学校探検をしていました

2年生が1年生の手を引いて、学校探検をしていました。3月まで1年生だったはずの子どもたちが、立派に後輩を誘導している姿が、とても頼もしく感じられました。

数人のグループの1年生

に向かって、担当の2年生がそれぞれの部屋の説明をします。校長室にもやってきました。どんな説明をするのか聞いていると、

「ここでは校長先生がお仕事をしています。クイズです。校長先生の部屋の前ではどうしますか。①大声を出す ②静かにする ③遊ぶ
正解は②の静かにするです」

なぜか、「有難う」と言いたくなりました。



いじめについて

「いじめ」は、学校にとって、取り組むべき大きな課題となっています。そもそも、「いじめ」とは何かという定義も、少しずつ変わってきています。

いじめ防止法では、「いじめ」とは

児童生徒に対して、当該児童生徒が在籍する学校に在籍している等当該児童生徒と一定の人的関係にある他の児童生徒が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童生徒が心身の苦痛を感じているものをいう。

となっています。わかりにくいですね。

早い話が、インターネットも含め、暴力行為はもちろん、嫌がらせや悪口でも、それを受けた人が苦痛を感じたら、それは「いじめ」だということになります。以前は、自分よりも弱い者に対してとか、継続的であるとか、一方的であるとか、そういった要件もあったようです。しかし、現在の定義では、一対一でも、一時的であっても、全て「いじめ」としてとらえます。

そう考えると、「いじめ」はどの児童でも起こり得ることになります。この場合の「起こり得る」とは、いじめられる側にも、いじめてしまう側にもなり得るということです。「いじめ」の被害者になってしまうということだけでなく、些細なトラブルから相手に「いじめ」と受止められてしまうこともあり得るということです。

本校でも「いじめ」の未然防止と、起きてしまった場合の早期解決に取り組んでいきます。しかし、おとなの目の届かないところで起きるのが「いじめ」です。教職員も注意して観ていきます。また、何でも話せるような児童との関係づくりを心掛けていきますが、もし、ご家庭で

の子どもの様子に変化があったり、ご心配な点がありましたら、何なりとご相談ください。

「いじめられているかも」と感じた時には、「無視しなさい」「大したことではない」「あなたにも悪いところがある」「いじめられるほうが悪い」「弱いからいじめられる」というような言葉は禁句（大阪大学森田教授による）なのだそうです。

万一、学校に相談しにくいという時には、ふれあい相談員やスクールカウンセラーをご活用ください。また、「24時間子供SOSダイヤル」（0120-0-78310）というものもあります。詳細は文部科学省のHPの <http://www.mext.go.jp/ijime/detail/dial.htm>



校庭に面した紫陽花が花をつけました。梅雨が近づいていることを感じます。

